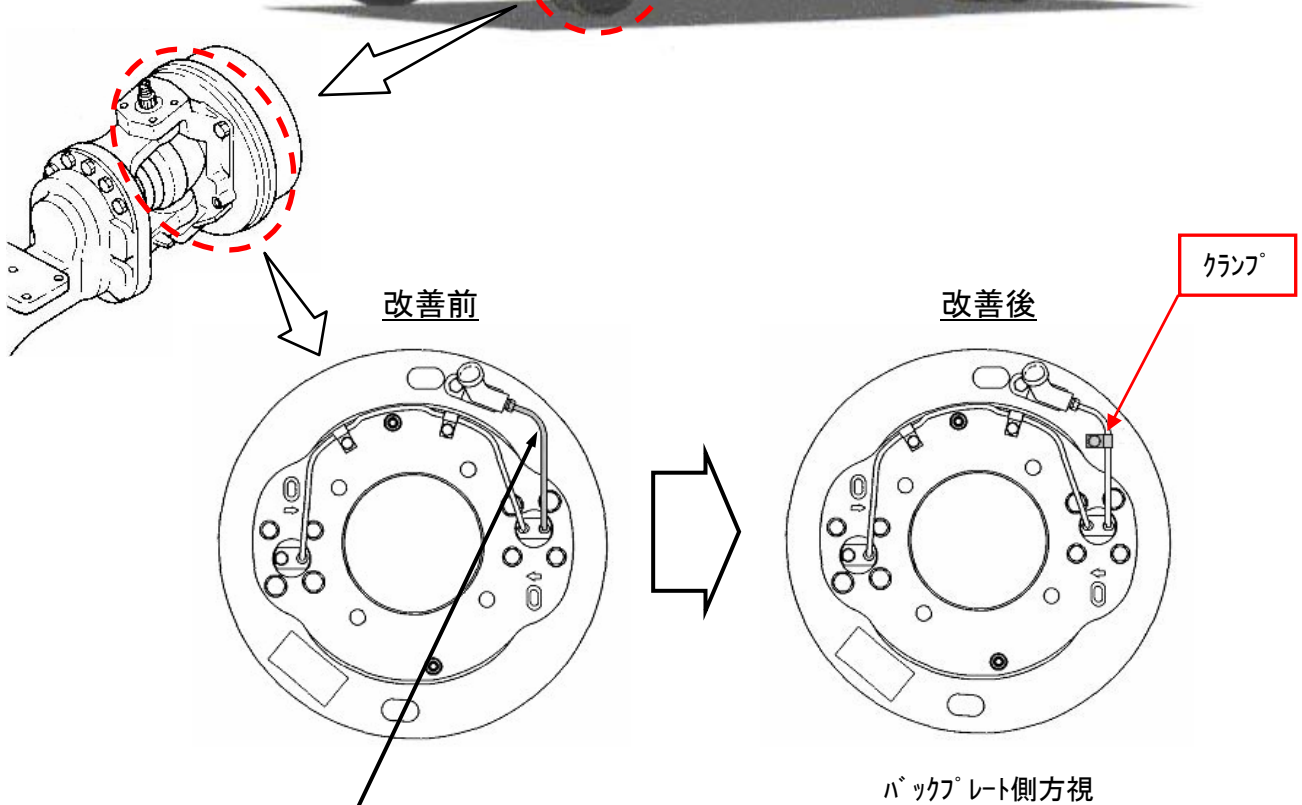


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

中型総輪駆動車の前輪用ブレーキパイプの固定方法が不適切なため、制動時のブレーキドラムの振動からブレーキパイプが共振し亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用すると、ブレーキ液が滲み出して液量が減少し、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該ブレーキパイプにクランプを取付け共振防止を図るとともに、当該ブレーキパイプを新品に交換する。

注：□は、追加部品を示します。

識別：作業完了車には、助手席側リヤドアピラーストラライカ付近に「MT-10」の文字が記載された白黄色シールを貼付ける。